

療養病棟のご案内

療養病棟（医療保険適用型） 病床数：238床 施設基準：医療療養病棟入院料 1

急性期治療終了後に病状が比較的安定し、引き続き医療的なケアや病院での療養が必要な患者さんが入院される病棟です。

当院では医療区分 2・3の方を中心に受け入れ、医師の判断により数か月から長期間の入院が可能です。（医療区分 1の方の受け入れも行っています。）

また、人工透析導入患者さん、人工呼吸器導入患者さんの受け入れも行っています。

医療依存度が高く、介護施設のショートステイが利用できない方、介護施設入所までの長期間入院の受け入れも行っています。



● 入院申し込み手順

① 地域医療連携室までお電話ください

患者さんの概要をお伺いし、必要書類についてご説明いたします。

※主な必要書類 診療情報提供書（主病名・症状経過・処方内容等が記入されている物）
ADL表 透析サマリー等

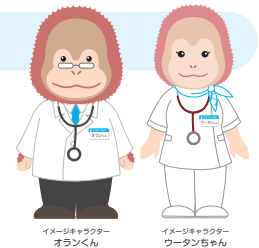
② 書類が全て揃いましたら地域医療連携室までご提出ください（郵送または FAX 可）

③ 書類確認後、受け入れについて当院相談員からご連絡いたします

入院日、入院時間、搬送方法等についてご説明いたします。

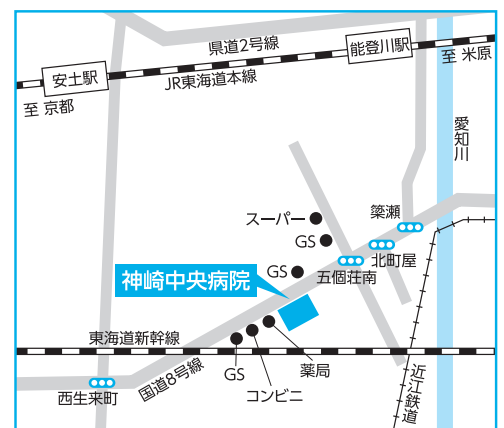
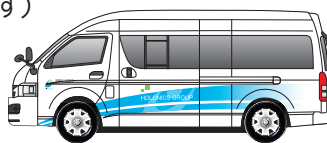
※当院では患者さんの送迎サービスもございます。（別紙参照）

※詳しくは当院の相談員へお問い合わせください。



● 交通のご案内

JR 能登川駅、JR 近江八幡駅、JR 安土駅
近江鉄道八日市駅、近江鉄道五個荘駅から
無料循環バスをご利用いただけます
（時間等はホームページに掲載しています）



ご 連 絡
お 問 い 合 わ せ

神崎中央病院

〒529-1445 滋賀県東近江市五個荘清水鼻町 95

E-mail info@kanzakihp.com URL http://kanzakihp.com

TEL (病院代表)

0748-48-5555

FAX (病院代表)

0748-48-5556

TEL (地域連携室代表)

0748-48-5558

FAX (地域連携室代表)

0748-48-5722

療養病棟（医療保険適用型） 医療区分表

医療区分1	医療区分2	医療区分3
医療区分2、 医療区分3に 該当しない者	医療区分3に該当しない者のうち以下のいずれかの条件に該当する者 【疾患・状態】 <ul style="list-style-type: none"> ● 筋ジストロフィー症 ※注1 ● 多発性硬化症 ※注1 ● 筋萎縮性側索硬化症 ※注1 ● パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病（ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ三以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度の状態に限る。）） ※注1 ● その他の指定難病等（スモンを除く。） ※注4 ● 脊髄損傷（頸椎損傷を原因とする麻痺が四肢全てに認められる場合に限る。） ● 慢性閉塞性肺疾患（ヒュー・ジョーンズ分類がⅤ度の状態に該当する場合に限る。） ● 悪性腫瘍（医療用麻薬等の薬剤投与による疼痛コントロールが必要な場合に限る。） ※注1 ● 消化管等の体内からの出血が反復継続している状態 ※注1 ● 他者に対する暴行が毎日認められる状態 【処置等】 <ul style="list-style-type: none"> ● 中心静脈栄養（広汎性腹膜炎、腸閉塞、難治性嘔吐、難治性下痢、活動性の消化管出血、炎症性腸疾患、短腸症候群、消化管瘻又は急性脾炎を有する患者以外を対象として中心静脈栄養を開始した日から30日を超えて実施するものに限る） ● 肺炎に対する治療 ● 尿路感染症に対する治療 ※注1 ● 傷病等によるリハビリテーション（原因となる傷病等の発症後、三十日以内の場合で、実際にリハビリテーションを行っている場合に限る） ● 脱水に対する治療（発熱を伴う状態の患者に対するものに限る） ● 頻回の嘔吐に対する治療（発熱を伴う状態の患者に対するものに限る） ● 褥瘡に対する治療（皮膚層の部分的喪失が認められる場合又は褥瘡が二箇所以上に認められる場合に限る） ※注2 ● 末梢循環障害による下肢末端の開放創に対する治療 ● せん妄に対する治療 ※注3 ● うつ症状に対する治療等 ※注3 ● 人工腎臓、持続緩徐式血液濾過、腹膜灌流又は血漿交換療法 ● 経鼻胃管や胃瘻等の経腸栄養（発熱又は嘔吐を伴う状態の患者に対するものに限る） ● 一日八回以上の喀痰（かくたん）吸引 ● 気管切開又は気管内挿管が行われている状態（発熱を伴う状態を除く） ● 頻回の血糖検査 ● 創傷（手術創や感染創を含む）、皮膚潰瘍又は下腿（たい）若しくは足部の蜂巣炎 膿（のう）等の感染症に対する治療等 ※注2 ● 酸素療法（密度の高い治療を要する状態を除く） 	以下のいずれかの条件に該当する者 【疾患・状態】 <ul style="list-style-type: none"> ● スモン ※注1 ● 医師及び看護職員により、常時、監視及び管理を実施 【医療処置】 <ul style="list-style-type: none"> ● 中心静脈栄養（療養病棟入院基本料を算定する場合にあつては、広汎性腹膜炎、腸閉塞、難治性嘔吐、難治性下痢、活動性の消化管出血、炎症性腸疾患、短腸症候群、消化管瘻若しくは急性脾炎を有する患者を対象とする場合又は中心静脈栄養を開始した日から30日以内の場合に実施するものに限る） ● 二十四時間持続点滴 ● 人工呼吸器（レスピレーター）の使用 ※注1 ● ドレーン法又は胸腔若しくは腹腔の洗浄 ※注1 ● 気管切開又は気管内挿管（発熱を伴う状態の患者に対するものに限る） ● 酸素療法（密度の高い治療を要する状態の患者に対するものに限る（常時流量3L/分以上）） ● 感染症の治療の必要性から実施する隔離室での管理 ※注1

注1) 難病・ガン・呼吸器・泌尿器系等の専門医が不在のため専門的治療は対応不可。投薬のみ対応。

2024.4 現在

注2) 皮膚科の常勤医不在のため常時の対応不可。

注3) 常勤の精神保健指定医が不在のため常時の対応不可。投薬のみの対応。

注4) 強皮症、皮膚筋炎および多発性筋炎、特発性血小板減少性紫斑病、結節性動脈周囲炎（結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎）、大動脈炎症候群【高安動脈炎】、ピュルガー病【バージャー病】、パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、モヤモヤ病【ウィリス動脈輪閉塞症】、ウェグナー肉芽腫症【多発血管炎性肉芽腫症】、突発性拡張型（うっ血型）心筋症、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）、表皮水疱症（接合部型および栄養障害型）、プリオン病（クロイツフェルト・ヤコブ病 CJD）、ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病 GSS、致死性家族性不眠症 FFI）、家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）、重症多形滲出性紅斑（急性期）（スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、薬剤性過敏症症候群）、間脳下垂体機能障害（PRL 分泌異常症【PRL 分泌過剰症、PRL 分泌低下症】）、ゴナドトロピン分泌異常症【分泌亢進症、分泌欠乏症】、ADH 分泌異常症、下垂体性 TSH 分泌異常症【分泌亢進症、分泌低下症】）、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症）、パーチット病、多発性硬化症、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、再生不良性貧血、サルコイドーシス、筋萎縮性側索硬化症、潰瘍性大腸炎、天疱瘡、脊髄小脳変性症、クローン病、悪性関節リウマチ、アミロイドーシス、後縦靭帯骨化症、ハンチントン病、膿疱性乾癬、広範脊柱管狭窄症、原発性胆汁性肝硬変、特発性大腿骨頭壊死症、混合性結合組織病、原発性免疫不全症候群、特発性間質性肺炎、網膜色素変性症、肺動脈性肺高血圧症、神経線維腫症、亜急性硬化性全脳炎、バッド・キアリ症候群、慢性血栓性肺高血圧症、ライソゾーム病、副腎白質ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、肥大型心筋症、拘束型心筋症、ミトコンドリア病、リンパ脈管筋腫症（LAM）、黄色靭帯骨化症



医療法人医誠会
神崎中央病院

Medical Corporation ISEKAI®